



## 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月14日

上場会社名 株式会社 大真空

上場取引所 東

コード番号 6962

URL <http://www.kds.info>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 長谷川 宗平

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理本部長

(氏名) 土井 紀夫

TEL 079-426-3211

四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	26,333	7.5	786	46.2	1,438	33.7	1,086	30.7
25年3月期第3四半期	24,505	—	537	—	1,075	—	831	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 3,199百万円 (89.4%) 25年3月期第3四半期 1,688百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	26.21	—
25年3月期第3四半期	20.05	—

前第3四半期連結累計期間において遡及処理を行っております。これに伴い、25年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。詳細は、添付資料2ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(追加情報)」をご覧ください。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	60,651	37,254	54.1
25年3月期	59,050	34,443	51.6

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 32,800百万円 25年3月期 30,458百万円

前期末において遡及処理を行っております。詳細は、添付資料2ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(追加情報)」をご覧ください。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	2.00	—	4.00	6.00
26年3月期	—	4.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	6.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成26年3月期(予想)期末配当金の内訳 普通配当4円00銭 記念配当2円00銭

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,500	—	800	—	1,200	—	950	—	22.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

前期末において遡及処理を行っております。これに伴い、対前期増減率は記載しておりません。詳細は、添付資料2ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(追加情報)」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料2ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	45,246,212 株	25年3月期	45,246,212 株
26年3月期3Q	3,817,271 株	25年3月期	3,797,250 株
26年3月期3Q	41,438,750 株	25年3月期3Q	41,452,724 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	2
3. 四半期連結財務諸表 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日～12月31日）におけるわが国経済は、円高の是正が進み、企業収益の改善や個人消費の増加なども見られ、緩やかな回復傾向で推移しました。世界経済におきましては、米国経済は個人消費が増加し、住宅市場や雇用環境に改善傾向が見られ緩やかな回復基調が続いておりますが、欧州経済は持ち直しの動きがあるものの低迷が継続しており、中国を中心としたアジアの経済成長は鈍化してまいりました。

ICT（情報通信技術）や自動車を含むエレクトロニクス市場におきましては、スマートフォンやタブレットPCの普及が進み生産は拡大しましたが、デジタル家電製品の生産低迷は継続しました。一方、エコカーの増加や電装化の進展などによりカーエレクトロニクスは堅調に推移しました。

このような環境の中、当社グループではスマートフォンを中心とする通信機器市場やカーエレクトロニクス市場への販売に注力しました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は26,333百万円（前年同期比7.5%増）となり、営業利益は786百万円（前年同期比46.2%増）となりました。また、為替差益708百万円を計上した結果、経常利益は1,438百万円（前年同期比33.7%増）、四半期純利益は1,086百万円（前年同期比30.7%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前期末と比較して1,601百万円増加し、60,651百万円となりました。これは主に預金及び投資有価証券の増加などによるものであります。

負債合計は、前期末に比べ1,209百万円減少し、23,397百万円となりました。これは主に借入金の減少などによるものであります。

純資産合計は、前期末に比べ2,810百万円増加し、37,254百万円となりました。これは主に四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加及び為替換算調整勘定の増加などによるものであります。

自己資本比率は、前期末に比べ2.5ポイント増加し、54.1%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月14日に公表いたしました通期の連結業績予想を修正しております。なお、当該予想数値の修正に関する内容につきましては、本日（平成26年2月14日）公表の「業績予想の修正及び営業外収益（為替差益）の計上に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、主に当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

#### (追加情報)

第1四半期連結会計期間より、連結子会社である加高電子股份有限公司の連結財務諸表につき、中華民国において平成25年1月1日以後開始する事業年度より中華民国株式市場での公開企業に対して中華民国国際会計基準が強制適用されることから、当該会計基準を適用した加高電子股份有限公司の連結財務諸表を基礎として、当社グループの連結財務諸表を作成しております。当該会計基準は遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。

遡及適用を行う前と比較し、前第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益並びに1株当たり四半期純利益に与える影響は軽微であります。なお、前連結会計年度の期首の純資産に累積的影響額が反映されたことにより、利益剰余金の前連結会計年度の期首残高は108百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,494,912	13,945,071
受取手形及び売掛金	8,783,656	8,962,483
有価証券	1,869,649	1,870,419
商品及び製品	2,799,529	2,981,578
仕掛品	3,141,322	3,483,384
原材料及び貯蔵品	2,385,992	2,251,128
繰延税金資産	198,252	235,464
その他	1,218,708	1,108,349
貸倒引当金	△18,632	△16,231
流動資産合計	33,873,390	34,821,648
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,157,060	5,931,733
機械装置及び運搬具(純額)	9,803,461	10,019,704
工具、器具及び備品(純額)	995,637	1,119,418
土地	5,693,036	5,760,171
建設仮勘定	1,485,835	565,985
有形固定資産合計	23,135,032	23,397,013
無形固定資産		
のれん	53,343	27,169
その他	165,247	189,192
無形固定資産合計	218,590	216,362
投資その他の資産		
投資有価証券	1,410,293	1,785,373
長期貸付金	316	39
繰延税金資産	52,226	53,979
その他	478,677	495,544
貸倒引当金	△118,241	△118,240
投資その他の資産合計	1,823,272	2,216,697
固定資産合計	25,176,895	25,830,072
資産合計	59,050,286	60,651,720

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,653,907	3,094,753
短期借入金	2,530,454	3,356,773
1年内返済予定の長期借入金	6,261,500	4,730,442
未払金	779,791	765,062
未払法人税等	327,663	53,669
賞与引当金	498,224	283,255
役員賞与引当金	—	11,250
その他	676,843	932,799
流動負債合計	13,728,385	13,228,007
固定負債		
長期借入金	8,059,859	7,260,146
繰延税金負債	531,194	739,538
退職給付引当金	1,847,270	1,806,632
長期未払金	309,739	218,327
資産除去債務	24,763	24,925
その他	105,241	119,641
固定負債合計	10,878,068	10,169,211
負債合計	24,606,454	23,397,219
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	19,344,883	19,344,883
資本剰余金	12,413,466	12,413,466
利益剰余金	878,200	1,632,967
自己株式	△1,522,712	△1,530,501
株主資本合計	31,113,838	31,860,816
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	90,328	324,215
為替換算調整勘定	△745,738	615,163
その他の包括利益累計額合計	△655,409	939,378
少数株主持分	3,985,403	4,454,306
純資産合計	34,443,831	37,254,501
負債純資産合計	59,050,286	60,651,720

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	24,505,071	26,333,680
売上原価	19,709,507	20,799,840
売上総利益	4,795,563	5,533,839
販売費及び一般管理費	4,257,694	4,747,498
営業利益	537,868	786,341
営業外収益		
受取利息	11,542	18,642
受取配当金	24,752	27,537
為替差益	414,140	708,874
受取保険金	151,414	7,669
補助金収入	90,912	—
その他	103,662	104,268
営業外収益合計	796,424	866,992
営業外費用		
支払利息	223,218	177,073
その他	35,213	37,305
営業外費用合計	258,431	214,378
経常利益	1,075,861	1,438,955
特別利益		
固定資産売却益	1,816	3,544
減損損失戻入益	26,470	2,364
特別利益合計	28,287	5,908
特別損失		
固定資産売却損	1,176	7,680
固定資産除却損	23,930	15,765
減損損失	9,311	—
過年度関税等支払額	—	75,294
特別損失合計	34,418	98,740
税金等調整前四半期純利益	1,069,730	1,346,123
法人税、住民税及び事業税	189,528	112,593
法人税等調整額	4,683	38,985
法人税等合計	194,212	151,578
少数株主損益調整前四半期純利益	875,518	1,194,544
少数株主利益	44,222	108,235
四半期純利益	831,295	1,086,308

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	875,518	1,194,544
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,335	233,886
為替換算調整勘定	806,117	1,770,633
その他の包括利益合計	813,453	2,004,520
四半期包括利益	1,688,971	3,199,064
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,411,636	2,681,097
少数株主に係る四半期包括利益	277,334	517,967



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	北米 (注) 3	欧州 (注) 3	中国	台湾	アジア (注) 3	計		
売上高									
外部顧客への 売上高	8,859,903	1,229,787	1,085,780	6,009,608	6,113,151	1,206,840	24,505,071	—	24,505,071
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	8,887,439	22,976	439	3,286,438	941,989	3,185,436	16,324,719	△16,324,719	—
計	17,747,342	1,252,764	1,086,220	9,296,046	7,055,140	4,392,276	40,829,790	△16,324,719	24,505,071
セグメント利益	52,366	51,577	8,178	53,176	154,161	96,047	415,506	122,361	537,868

(注) 1. セグメント利益(営業利益)の調整額122,361千円には、セグメント間取引消去132,902千円、のれんの償却額△36,878千円、その他の調整額26,338千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 日本、中国、台湾以外の各セグメントに属する主な国又は地域の内訳は次のとおりであります。

- (1) 北米………米国
- (2) 欧州………ドイツ
- (3) アジア……インドネシア、シンガポール

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	北米 (注) 3	欧州 (注) 3	中国	台湾	アジア (注) 3	計		
売上高									
外部顧客への 売上高	7,395,004	1,643,249	1,494,766	7,528,784	6,731,665	1,540,209	26,333,680	—	26,333,680
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	11,679,286	17,017	3,553	3,552,253	1,272,240	3,597,678	20,122,030	△20,122,030	—
計	19,074,291	1,660,266	1,498,320	11,081,037	8,003,905	5,137,888	46,455,710	△20,122,030	26,333,680
セグメント利益	276,028	57,692	7,653	84,406	335,299	14,656	775,736	10,604	786,341

(注) 1. セグメント利益(営業利益)の調整額10,604千円には、セグメント間取引消去109,943千円、のれんの償却額△29,658千円、その他の調整額△69,680千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 日本、中国、台湾以外の各セグメントに属する主な国又は地域の内訳は次のとおりであります。

- (1) 北米………米国
- (2) 欧州………ドイツ
- (3) アジア……インドネシア、シンガポール

4. 在外子会社における中華民国国際会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、連結子会社である加高電子股份有限公司の連結財務諸表につき、中華民国国際会計基準が強制適用されることから、当該会計基準を適用した加高電子股份有限公司の数値を基礎として、当社グループのセグメント情報を作成しております。当該会計基準は遡及され、前第3四半期連結累計期間については遡及適用後のセグメント情報となっております。

なお、これによる前第3四半期連結累計期間のセグメント情報に与える影響は軽微であります。